

[長谷川病院ご担当者様]

Q 新しい建物の感想をお聞かせください。

完成してから、もうすぐ1年になりますが、岩倉さん、水野さん、本当にありがとうございました。とても感謝しています。実は、十数年間前から早く耐震補強と増改築工事を行いたいと思いつつ、困難が予想されたため、なかなか動けずにいました。着工当初も、いろいろ問題が起きるのではないかと心配していました。ところが、始めてみると、想定外の問題が起きても、大建設計工務と一宮工務店の皆さんが、素早く的確に解決策を提示してくれましたので、大きな問題は発生せず、順調に進み、期待をはるかに超えた立派な病院が完成しました。少し誇らしく思い、とても喜んでます。

Q 先生や看護師さん・患者さんの評判はいかがですか？

増改築工事ですので、レイアウトが不自由で、どうしても職員の動線が長くなってしまおうという問題点はありましたが、全体的に広く綺麗になったので、全職員が喜んでくれており、皆、明るく元気に働いてくれています。また、患者さんも、工事中はやや戸惑われていましたが、完成後は、少し驚いたような顔で、綺麗ですね、立派になりましたねと褒めてくれました。

Q 弊社スタッフの対応はいかがでしたか？

大建設計工務に設計を依頼したのは5回目です。今回が、最も難しい病院本体の増改築工事で、苦勞されたと思いますが、社長の正岡さんを中心にして、丁寧に対応して頂き、ありがとうございました。心から大満足です。

設計担当者紹介

監理担当



設計担当 岩倉 美典

監理担当 水野 博文

長谷川病院建築工事監理を担当しました、水野です。
増改築工事は「1期から5期工事と長期にわたる工事」、「既設病院を使用しないからの工事」、「コロナによる大人数での会議が制限される工事」といった困難がある中、理事長先生をはじめ病院関係者の皆様の協力、施工された一宮工務店の迅速な対応により無事に完成する事が出来ました。白で統一されたスッキリした外観および温かみのある内装まで理事長先生のこだわりが出ている病院が完成できたと思います。地域医療に貢献される長谷川病院の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

株式会社 大建設計工務 お問合せ・ご相談は 営業部までご連絡ください 089-933-3311 (月~金 8:30~18:00) daiken@daiken-sekkei.com

本社 〒790-0862 愛媛県松山市湯渡町5-36
南予事務所 〒798-0050 愛媛県宇和島市堀端町1-45コア追手町308号
高松事務所 〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目6-3 ダイアパレスポートアベニュー高松100 101号

大建設計工務 公式HP
トップページ



News Letter

Vol. 08

特集 特定医療法人明生会 長谷川病院



Concept

地域医療に貢献できる病院づくり

昭和29年創業

株式会社 大建設計工務



建築を通して
“まちづくり”に参加する

株式会社大建設計工務は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



増築棟 南面

特定医療法人明生会 長谷川病院

発注者：理事長 長谷川一朗
 延床面積：8,019.53㎡
 構造：鉄筋コンクリート造5階建
 施工：株式会社一宮工務店

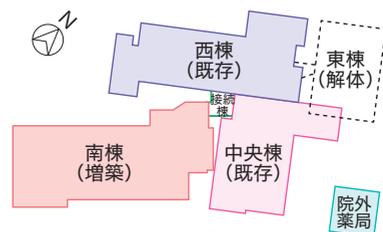
今回の長谷川病院のプロジェクトでは、老朽化した既存建物の耐震補強と改修、解体、増築を病院を運営しながら行いました。

本院は四国中央市にある内科・循環器科・消化器科・腎臓内科・人工透析内科・リハビリテーション科を持ち、病床数100床、介護医療院60床、人工透析33床を有し、救急指定病院として地域医療に貢献されている病院です。

病院以外にもサービス付高齢者向け住宅、有料老人ホーム、グループホーム、ショートステイ、デイサービス等を運営され高齢者医療や介護事業に取り組まれている病院です。



メインアプローチの玄関庇



長期に渡る設計・ 施工工期

工事は先行解体工事から始まり、5期工事までありました。

1期工事では診察室・病室を備えた鉄筋コンクリート造5階建て(南棟)が増築され、2期工事では既存棟と繋ぐ為の接続棟が建設されました。

続いて患者様が南棟へ引越し、既存棟(中央棟及び西棟)のスタッフステーションと病室の改修を行いました。

3期工事では西棟を耐震補強し、又、病院の2階全体を介護医療院に変更しました。

4期工事では一番古い東棟の解体撤去を行いました。

5期工事ではメインアプローチの玄関庇や駐車場整備を行い、完成竣工となりました。

工事期間中はコロナ禍に対応した発熱外来の建物を急遽建設するなど現場変更もありました。

設計は平成27年度、工事は平成30年12月から始まり、完成は令和4年3月で3ヶ年2ヶ月間の長期工事期間となりました。

増築設計での 問題点解消

既存中央棟の階高が低く、既存に合わせると天井高が低くなる為廊下には梁型を表し、最上階では床にスロープを設けることで解消しました。



南棟 透析室



南棟 食堂・談話室



南棟 病室前廊下



中央棟 受付・待合室